

(第2号様式)

沖工第 2397 号
令和7年 3月 26日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立沖縄工業高等学校
校長 外間 昌繁
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月17日(水) 16:10~17:00	場所	本校小会議室	出席 状況	評議員5名、学校職員7名
第2回	日時	令和6年12月23日(月) 16:10~17:00	場所	本校小会議室	出席 状況	評議員5名、学校職員6名
第3回	日時	令和7年3月21日(金) 16:10~17:00	場所	本校小会議室	出席 状況	評議員5名、学校職員4名

2 学校評議員に求めた事項

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| ・学校経営方針への助言
・生徒指導への助言 | ・生徒の活動状況への助言
・進路指導への助言 |
|--------------------------|---------------------------|

3 学校評議員の意見

- | |
|--|
| ・難易度の高い資格を取得した生徒は大変すばらしい。資格取得に向けて積極的に取り組んでおり、先生方の指導のおかげであるが、先生方の負担が大きくなってはいないか。
・沖縄県は休職者が多いと聞くと、職員の精神的な健康管理、悩みへの対応を管理者面談等で対応してほしい。
・進路指導に関して、やはり進路決定率の高さに関心している。一方で、就職後の早期離職者もいると聞くので、目的をもって進路先を決定できるよう指導してほしい。県職員等の公務員希望者も増えて欲しい。
・進学については就職したくないからではなく、学びを進学に活かす目的で国公立大学を含む進学者への指導の充実を図ってほしい。建設業協会は条件付きで進学支援金を給付しているので、企業の進学支援も活用してほしい。
・生徒の出席状況について、コロナも落ち着き以前の状態に戻っているが欠席者の多さが気になる。改善に向けて取組を検討してほしい。
・生徒が積極的に地域のボランティアに参加していてとてもよい経験だと思う。今後も地域のイベントなどにも積極的に関わって欲しい。 |
|--|

4 学校運営に反映した事項

- | |
|--|
| ○地域との連携
地域の小学生を招待し体験学習の実施、隣接する松川共同住宅での月1回のボランティア活動、工業高校で学んだ技術を活かして出身中学校や地域の小学校へ演題や靴箱、紙芝居の枠などの寄贈、花壇の修理等、地域と関わる取組に努めた。
○キャリア教育の充実
3年生で学びを自身のキャリアに活かすために、1年生から自己理解、他者理解、工業高校での学びと社会のつながり等を知ることが目的に、外部の専門人材を活用した講座や職員研修を実施した。 |
|--|

5 課題その他

- | |
|---|
| ・職員の働き方に関する自己評価の結果から、ゆとりある業務になっていないことが明らかとなった。本校は県立高校としての業務に加え、工業高校としての取組も多く、学校全体として業務の精選は急務である。
・長期欠席者に対する学校生活(生徒の生活習慣等)改善に向けた取組。(学年会、生徒支援部との連携を図る) |
|---|